



いきいきらんど情報



☆子宮頸がんについて☆

子宮には、頸部と体部があります。子宮の入口にできるがんを「子宮頸がん」と言います。

日本では毎年約一万五千人が発症し、約三千六百人が死亡しています。近年二十〜三十歳代の子宮頸がんが増えています。



子宮頸がんは検診で発見しやすく、検診で予防できるがんともいえます。子宮頸がんの予防のためには、定期的な子宮頸がんの検診の受診が重要ですが、日本人女性の子宮頸がん検診受診率は、欧米と比べて非常に低いのが現状です。

二十歳過ぎたら

二年に一回子宮頸がん検診を受けましょう！

子宮頸がんは、HPV感染から五〜十年で発症するとされています。しかしHPVに感染していても自覚症状は全くありません。

HPV感染のピークが二十代前後、子宮頸がんの発症のピークが三十代前半ですから、このHPV感染から発症までの十年の間に子宮頸がん検診を受けることが若い子宮頸がんをなくす上で非常に重要です。

＊HPVⅡ子宮頸がんの原因でヒトパピローマウイルス

子宮頸がん検診の検査は主に問診・視診・内診・細胞診です。検査の結果、精密検査となった方はコルポスコプ診や組織診を行います。

村では七月一日から十二月二十八日までの六カ月間、医療機関での個別子宮頸がん検診の補助を行っています。すでに検診通知が届いている方もいるかと思いますが、検診希望を出していない方で

も受診票をお渡しできますので、保健師までご連絡ください。

また、二十二年度から子宮頸がん予防のためのHPVワクチン（サーバリックス）が接種可能となりました。村では中学一年生から高校二年生までに費用の全額補助を行っています。強制ではありませんので、よくご検討いただき接種をしてください。

☆前立腺がんについて☆

五十歳過ぎの男性がかかりやすい前立腺がんは増え続けています。

日本で前立腺がんにかかる男性の人数は、年間で人口十万人あたり十人程度。部位別のがん死亡順位も十位前後です。年齢別にみした場合、五十代から徐々に増加し、加齢とともに死亡者数、死亡率とも上昇してきています。年々増加傾向にあり、今後増え続けるがんと考えられています。

前立腺がんの場合、腫瘍がある程度大きくならないと尿道や膀胱を圧迫しないので初期段階ではほとんど自覚症状がありません。ある程度進行すると、排尿困難・頻尿・残尿感・夜間頻尿などの症状が現れます。これらの症状は前立腺肥大でも起こるものですので自覚症状だけで、がんを判断するこ

とは大変難しいといえます。

PSA（前立腺特異抗原）検査により、かつて困難だった、早期のまだ自覚症状が出る前の前立腺がんが発見されるケースが増えてきました。PSAとは前立腺組織から分泌される糖たんぱくのことです。前立腺に異常があると数値が上昇します。採血だけで調べられるので、検査の負担も少ないのが特徴です。

下條村でも特定健診に合わせ、PSA検査も実施しています。下條村国民健康保険加入者で五十歳以上の男性の方が対象です。九月二十六日から三十日までが特定健診期間となります。この機会に受診をしましょう。



年に一度の検診の機会をのがさないように、積極的に検診を受けるようにしましょう。

下條村青少協主催 夏休み人形劇場開催しました！

8月3日(水)午前10時より、下條村青少年健全育成協議会主催による、『夏休み人形劇場』が、コスモホール披露宴会場にて行われました。

下條保育所の園児、小学生や一般観覧の皆さんを含めて300人を超える来場者で賑わいました。

今回は、三重県の『人形劇団どむならん』さんをお招きしました。“どむならん”の名前の由来は、伊勢弁で、なにをやらかすか、何を言い出すか分からない、親やまわりの大人達をヒヤヒヤさせ、目を離せない子どもの事を“どむならん子”といいます。そういういたずら好きの子ども達の生き生きした笑顔を創造のよりどころとして作品作りをやっていこうと、この名前をつけたそうです。

“ぼくがいちばんつよいんだぞ！”という作品を上演していただきました。来場者は終始、楽しんで観覧することが出来ました。

下條村青少協では、毎年、いい大人形劇フェスタの広域公演として人形劇場を開催しています。今後も継続して開催をしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。



独居老人交流会 「おたっしや広場」開催



今年も65歳以上で独り暮らしをしている方の交流会を、6月30日の猛暑の中開催しました。今回の交流会は何か形に残したい、そんな思いから天竜川総合学習館「かわらんべ」にて苔球を作る事にしました。苔球作りを教えていただいた堤久講師から、「今日作った苔球は今の皆さんです、自分だと思って今日から大切に育ててください。枯れるも育つも皆さんしだいです。」その言葉に「自分！私！わしだな！育てんとだな！」決意を新たに昼食会の湯～眠へ向かい、中華を口にしながら昔の今の話に花が咲き、温泉に入りゆったりとした時間を過ごし何年かぶりの同級会、同窓会のような交流会は終了しました。

尚、この会の開催にあたり村の文化祭でのバザー代を使わせて頂きました事を、この場を借りてお礼とさせていただきます。ありがとうございました。

下條村社会福祉協議会

保育所だより

おみこし作ったよ!!

年長になり親子おたのしみ会に向けて子どもたちはおみこし作りをします。「僕たちは大きい組さん」とはりきって作る姿やアイデアを出してみんなで協力



をして作ることが出来ました。見て下さい。上手に出来ました。「早くかつぎたいなあ」と楽しみにしている子どもたちです。

